

## 松商学園高等学校(通信制課程)開校後の状況について

県民文化部県民の学び支援課

## 概要

- 1 名称 松商学園高等学校 通信制課程(狭域) 校長 長野 雅弘
- 2 教育区域 長野県
- 3 位置 松本市県3丁目6番1号
- 4 設置者 学校法人 松商学園 理事長 田口 敏子
- 5 学則定員 240人
- 6 開校年月日 令和7年4月1日

## 1 生徒数(5月1日時点)

(単位:人)

	1年	2年	3年	合計	申請時計画	定員
R7						
うち新入生 (応募者数)						
県外出身者						

- 説明会の実施や市の教育支援センターとの情報交換を行うことで本校の教育環境への理解を深める他、卒業生徒の進学状況等の実績の積み上げにより、志願者数は年々増加することを見込んでいる。

## 2 教職員数(11月末日時点)

(単位:人)

		校長	教頭	教諭	助教諭	講師	養護教諭	助手	事務職員	合計
計画	計	1	1	9	0	1	1	0	1	14
	専任		1	3			1		1	6
	兼任	1		6		1				8
R7	計	1	1	9	0	6	1	0	1	19
	専任		1	3		2	1		1	8
	兼任	1		6		4				11
差	計	0	0	0	0	5	0	0	0	5
	専任	0	0	0	0	2	0	0	0	2
	兼任	0	0	0	0	3	0	0	0	3

- 常駐できる教員を申請時計画から増員してきめ細かな生徒対応ができる体制を整えている。保健体育では種目に応じて少人数教育ができるよう講師を増員している。
- 教職員については、全日制から異動した専任教員や兼務教員を充てており、知見及び経験が十分な教員が指導に当たっている。今後は生徒数の増加と共に、通信制の専任教員を増員する予定である。しかし通信制での勤務条件を前提とした求人への応募者がどれほど潜在しているかが不明確であり、近年特に質の確保が求められている通信制において、多様な生徒対応ができる教員の確保には一層の工夫が必要である。

## 3 教育の特徴等

- 教育課程については、特色として学校設定科目である商業教育・スポーツ指導・文章指導を軸にキャリア講座を開講して指導を展開している。松本大学・松商短大との連携のもと、大学とのゼミ体験、大学生による地域学習など大学連携型として設置した本校ならではの

特別活動を実施しており、これらの経験は生徒の学習に対する意欲の向上・進学に対する意欲の向上に寄与している。生徒の現状から数学の基本的な学びの必要性と必修科目である「公共」の学びをさらに深める機会の充実を目的に、次年度からは学校設定科目「数学入門」と「倫理」の開講を予定している。

- ・今年度においては卒業年度に当たる生徒を 5 名受け入れているが、全員が進学志望をしている。教員とキャリアカウンセラーが主に個別指導を中心に進学指導を行っている。
- ・在校生の多くは中学校時代に不登校経験がある中で、ほぼ全ての生徒が定期的なスクーリングに参加できている。定期的なスクーリングに参加が難しい生徒は、集中的な登校や個別指導を行い、規定のスクーリングへの参加を促している。また、分校である新村キャンパスは不登校経験の生徒でも気軽に通学できており、心理的安全性が高い環境となっていることを実感しているため、今後同キャンパスで利用可能な教育施設の拡充を検討している。
- ・今後の展望としては、通信制教育の質が疑問視されている中で、指導要領をはじめ学校関係法令を遵守し、前例踏襲ではなく真に生徒や保護者のニーズに応える通信制課程を実現に努めていく。不登校児童生徒が毎年過去最多を更新する時代にこそ、生徒の幸せの追求、個別最適な教育の提供を目的に、公立や他私学にもできない本校の強みを活かした大学連携型狭域通信制を確立し、地域における学びの共創拠点としてスクール・ミッションを果たしていく。また、全国でもトップクラスの情報公表を目指して IR 活動を実践していく。

#### 4 収支決算